蘇生会総合病院 会 報 Vol.78 2023年10月

『院内感染対策の取り組み』 page2 『東新館の紹介: 救急科』 page3

『東新館の紹介:透析室』 page4 『東新館の紹介:手術室』

page5

『栄養管理科 ~鶏肉のたっぷりきのこあんかけ~』 page6

『糖尿病教室の紹介/指針』 page7



院内感染対策の取り組み

当院には、院内および地域に活動の場を持つ部門として、 感染制御室があります。感染制御チーム・抗菌薬適正使用支 援チームから構成され、医師・薬剤師・検査技師・看護師と 多職種による組織横断的な活動を行っています。

感染制御チームとは、院内感染の防止・対策を強力かつ円滑に実行することを目的としたチームです。その対象は、患者さんはもちろんのこと職員や面会者にも及びます。院内では、Infection Control Team の略語で「ICT」と呼ばれております。



抗菌薬適正使用支援チームとは、感染症治療において、効果的な治療、副作用の防止、耐性菌出現のリスク軽減のため、定期的なカンファレンスを行うなど、抗菌薬の適正使用を支援することを目的としたチームです。Antimicrobial Stewardship Team の略語で「AST」と呼ばれています。

活動内容

●環境ラウンド

院内環境ラウンドを毎週1回行っています。感染防止対策の実際を検討し、感染防止対策の充 実を目指しています。

●サーベイランス

耐性菌、抗菌薬、デバイス、SSI、手指消毒剤使用量等のサーベイランスを実施し、感染制御活動、抗菌薬適正使用支援に生かしています。 厚生労働省が主催するサーベイランス事業にも参加し、全国データを基に感染対策の評価・検討も行っています。

●職員教育・院内研修

職員研修最新の知識、抗菌薬使用の基本や最新の知識、感染対策の基本、現状に沿った感染対策を行うために、全職員を対象に年4回以上定期的に研修を開催しています。



- ●感染対策マニュアル及び抗菌薬使用マニュアルの作成と改訂 感染症法やガイドラインに基づき、現場で活用できる感染対策マニュアルの作成と改訂に努めています。また抗菌薬適正使用推進のため、抗菌薬使用マニュアルの作成と改定にも努めています。
- ●地域医療施設との連携地域の医療施設と連携を行い、感染対策や抗菌薬適正使用推進に関する合同カンファレンス(年4回)を開催しています。

また、施設ラウンドや相互に相談・指導を行い、地域全体での感染対策・抗菌薬適正使用の充実・ 改善に向けて活動を行っています。

文責/感染管理認定看護師 久田 真悟

救急室の紹介



救急室が新しくなりました!

救急科の吉川です。

8月23日より東新館が稼働し、それに伴い救急室も東新館に移動しました。 診療室もこれまでの1室から2室になり、複数の患者対応もこれまで以上の対 応が可能になっています。エコーなどの機器もリニューアルされました。今後 も機器類についてはさらに充実させていく予定をしています。

前回ご紹介した救急救命士さんは現在6名体制になり、マンパワーの面でも拡充してきております。

CT 室は救急処置室のすぐ向かいにあり、速やかな検査が可能になりました。また、血管造影室もその隣にあり、緊急のカテーテル検査や治療を迅速に行えます。パワーアップした救急体制で、今後も地域を支える救急病院として精進してまいります!









文責/救急科 吉川 徹二

東新館の紹介

透析室の紹介

2023年8月7日(月)より新棟へ移転いたしました。

窓からは自然の光が差し込み、京都原産の木材を使用した柱からも自然を感じていただけるようになっています。また、「クーラーの風が直撃して寒い」という患者様からのお声をいただいたことで誕生したのが天井からの自然な風です。天井に開けられた無数の穴からは、心地よい温度の風がフロア全体を包み込んでいます。さらには、「照明が目に入りまぶしい」というお声に対して、ベッドに横になった時の目線の先に直接光が入らない工夫を施しています。

患者様からいただいたお声を参考にした快適な空間で透析治療を受けていただけることを嬉し く思います。

今回の移転で、なによりも大切に考えてきた<u>患者様のための空間</u>を大切にしていきたいと考えています。



移転に伴い、24 床から33 床へ増床となりました。

日本透析医学会の調査報告によると、わが国の慢性透析患者総数は約35万人となり年々増加しています。透析を受けられる患者様の高齢化により車いすで通院される方は少なくありません。そのため、ご自宅から病院玄関までのドアTOドア送迎を行い、通いやすい透析室を目指しています。少しでも多くの方々に、快適にそして安全に、透析治療を受けていただけるようスタッフー同、誠心誠意取り組んでいきたいと考えております。

手術室の紹介



新手術室へは、8月18日(金)~20日(日)に引っ越し作業が行われました。

新手術室の運用は4室となっています。手術は内視鏡手術や画像ナビゲーション手術・顕微鏡手術など様々な医療機器を取り入れた手術を行っています。手術室1室は、天井吊りの低侵襲手術に対応するために55インチ4K大型モニターを設置して、壁には設定パネルを配備しました。パネルはワンタッチで設定が可能となっています。今後、低侵襲手術増加を見込んで、もう1部屋も天上吊りモニター設置ができるような配備をおこなっています。

面積では従来の手術室の約 1.2~1.5 倍と十分な広さで将来的には、ロボット手術も導入可能なスペースを確保しています。電源設備も充実しています。医療用コンセントも天井吊りや過電流・漏電対策が備わった設備を各手術室内に設置しています。多くの医療機器を使用するため、電気設備の充実にて様々な手術への対応ができ、停電対策強化で安全に手術を実施することが可能です。

今後、これまで以上に手術件数増加や将来的にはロボット手術にも対応できることを考え、手術室に関わるスタッフや患者さんが安心して手術が行えるような環境配備に努めてまいります。スタッフー同、新たな職場で、安全第一に努めて頑張っていきます。

文責 / 手術室 師長 麻田 眞由美

鶏肉のたっぷりきのこあんかけ

今年の夏はとても暑かったですね。そんな夏も終わり、落ち葉が赤や黄、オレンジへと姿を変える 季節となりました。

今回はきのこを使った「鶏肉のたっぷりきのこあんかけ」をご紹介します。きのこ類は 1 年中手に取ることのできる食材ですが、旬である 9 月~ 11 月は特に栄養価も高く、おいしさが増す季節となります。きのこ類にはおなかの調子を整える食物繊維や、疲労回復に効果的なビタミン B1 が含まれています。また、ビタミン D も多く含まれており、強い骨を保つのに必要なカルシウムの吸収を助けてくれます。ビタミン D は脂溶性ビタミンのため、油と一緒に調理すると吸収率がアップします。さらに、日光をあびると皮膚でビタミン D は産生されるので、日光浴をするのも骨折予防になります。きのこといってもマイタケ、しめじ、しいたけなど様々な種類があり風味も食感も異なるため、お好みでチョイスし、たっぷりきのこで秋を感じてみてはいかがでしょうか?



材料(2人前)

鶏もも肉 塩 酒 小麦粉 油	200g 少々 大さじ1 適量 適量
	/2 パック /2 パック 2コ 適量
―あん― (A) 水 ぽん酢 濃口醤油 砂糖	150 cc 大さじ1 小さじ1 小さじ1
水溶き片栗粉	小さじ1
ートッピングー ネギ	適量

作り方

- ① 鶏もも肉に塩・酒をふり、よく揉み込んでおく。
- ② きのこあんを作る。しめじとマイタケの石づきを落とし、手でほぐす。しいたけは薄切りにする。
- ③ 鍋またはフライパンに油を引きしめじ・マイタケ・しいたけを炒める。Aを加えて一煮立ちさせる。弱火にし水溶き片栗粉を加えてかき混ぜながらとろみを付ける。
- ④ ①に小麦粉をまぶす。熱したフライパンに油を引き、鶏肉を焼く。
- ⑤ 焼き色が付いたら裏返し、蓋をし蒸し焼きにする。中まで火がと通ったら器に盛り付け、③を上からかけネギを散らしたら完成。

1 人前 エネルギー 363kcal タンパク質 19.1g 塩分 1.2 g

文責/管理栄養士 久保 ほのか

糖尿病教室の紹介





さる7月26日、3年ぶりに糖尿病教室を開催いたしました。 内科田川医師より「糖尿病に関連する病気」として、糖尿病の慢性合併症に加え気をつけるべき病気について、栄養管理科木山管理栄養士からは「糖尿病患者さんのための免疫力を落とさない食事」として食事療法の基本をベースに免疫力を落とさないためのポイントについてお話しさせていただきました。また、会場内には田川医師おすすめの食材の実物を展示しました。

手に取ってご覧いただくことで今後のお食事の参考になったのではないでしょうか。

久しぶりの教室ということもあり、来ていただけるのか不安も ありましたが、沢山の方にお越しいただき大盛況の教室となりま した。

暑い中お越しいただきありがとうございました。次回は 11 月 9日(木)です。是非お越しください

文責 / 健康運動指導士 松本 泳子

蘇生会総合病院 指針

理念

思いやりの気持ちで心とからだの蘇生を 患者様の信頼と要望に全力で応える医療を

基本方針

- ① 最新で質の高い医療
- ② 誠実で正しい医療
- ③ 地域社会に貢献できる医療
- ④ 急性期疾患と慢性期疾患とを含めた総合的医療
- ⑤ 患者様の権利を尊重した医療

以上を提供する

患者様の権利

- ① 人として人格を尊重される権利
- ② 診療内容について十分な説明を受ける権利
- ③ 納得のいかない診療を拒否する権利
- ④ 自分の受けた診療について知る権利
- ⑤ 清潔な環境で診療を受ける権利
- ⑥ プライバシーを保護される権利

患者様の義務

他の患者様の迷惑となる言動をしない

臨床倫理の方針

患者様を中心とした公正な医療を提供するために、次のとおり臨床倫理の方針を定めます。

- ① 「患者様の権利」を尊重した医療を提供します。
- ② 個人情報の保護と職務上の守秘義務を遵守します。
- ③ 診療行為に関する関係法令を遵守します。
- ④ 国籍、人種、信条などに左右されることなく、 公平な医療を提供します。
- ⑤ 生命の尊厳に関する医療行為や臨床研究など は、倫理委員会で審議を行い、方針を決定します。

地図・交通のご案内

▶ JR 京都駅・地下鉄京都駅八条口より

市バス 19 国道大手筋下車 所要時間:約29分

▶ 地下鉄竹田駅・近鉄竹田駅より

市バス南3 国道大手筋下車 所要時間:約16分

タクシー 所要時間:約7分

▶ 京阪中書島駅より

市バス 19、20、22 国道大手筋下車 所要時間:約8分 タクシー 所要時間:約5分

高速道路より

京都南インターより、国道1号線南へ2キロ 阪神高速8号~国道1号線角

▶ 阪神高速8号京都線 城南宮南出入口より南下 大手筋通り西進 国道1号線

▶ 無料シャトルバス

バスの走行ルートは2系統ございます。

- ①京阪「中書島」ルート(右記上部地図参照)
- ②地下鉄・近鉄「竹田」ルート(右記下部地図参照)
- ※渋滞時に右記地図とは違うルートを通る場合がございます。
- ※竹田ルートの乗車位置は竹田駅西口4番出入り口から、高速道路 の高架をくぐって道路を渡り、右側50メートル程進んだ付近の 歩道上でお待ちください。停留所等の目印はございません。
- ※送迎バスの病院発のバス乗降所は「アイン薬局前」から 「蘇生会総合病院 東新館 伏見センター薬局前」に変更なりました。

月曜日から土曜日まで運行しております。どうぞご利用下さい。(日曜日・祝日は運行なし)。 何かご不明な点があればお問い合わせ下さい。時刻表は病院玄関横または受付にございます。



蘇生会総合病院

〒612-8473

京都市伏見区下鳥羽広長町 101 番地

TEL: 0570-071-101(代) FAX: 075-612-5790

①京阪「中書島」ルートのご案内



②地下鉄・近鉄「竹田」ルートのご案内



※表示の時刻表は令和5年6月1日現在のものです。予告なく変更する場合がございますのでご了承下さい。 最新の時刻表は院内で掲示・配布しておりますのでご確認下さい。

蘇生会総合病院 送迎バス 時刻表 ※日曜・祝祭日は運休※

①京阪「中書島」ルート

中書島駅 発			西大手筋 発					病院前 発							
7			30	45		7			32	47	7			37	52
8	00	15	30	45		8	02	17	32	47	8	07	22	37	57
9	05	25		45		9	07	27		47	9		17	37	57
10	05			35		10	07			37	10		27		57
11	05			35		11	07			37	11		27		57
12	05			35		12	07			37	12		27		57
13	05			35		13	07			37	13		27		
14				48		14				50	14			40	
15				48		15				50	15			40	
16				48		16				50	16			40	
17		15	30	45		17		17	32	47	17	10	25	40	55
18	00	20		40		18	02	22		42	18		15	35	55
19	00					19	02				19		15		

②地下鉄・近鉄「竹田」ルート

	竹田	駅 発		病院前	発
7		30	7		
8	05	35	8	20	
9		35	9	20	
10		30	10	15	
11			11		50
12	05		12		50
13			13		50
14	2	0	14		
15			15		
16			16		
17			17	20	50
18			18	20	
19			19		